

一般財団法人北栄スポーツクラブ 指定管理業務評価表(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

業務名	実施概要	成果と課題(自己評価) * 記載できるものは客観的な数字も含わせて記載(改善できたことは前年度と今年度の比較、毎年度事業は各年度など。必要なら別紙添付。)	自己 評価 A～E	講 評 * 北栄町公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例 第6条関係	総合 評価 A～E
《管理・運営に関すること》					
◎施設の維持管理(修繕等)に関すること	指定管理施設の管理業務	・大栄野球場スコアボード基板修理、各施設のトイレ、ドア、ガラス破損の不備に対して迅速に対応した。	C	第6条第2号(効用、経費)、第3号(人的能力) 適切に管理を行っている。 軽微な修繕は、職員で対応し、経費削減、適切な管理に努めている。	C
◎日常点検、保守、巡視に関すること	指定管理施設の管理業務	・管理施設を定期的、あるいは台風、大雪、など自然災害発生時直後に巡回し、施設の不備を発見した場合は迅速に対応することにより、すべての利用者が安全にスポーツ活動を行うことが出来た。	C	第6条第2号(効用、経費)、第3号(人的能力) 適切に管理されている。 点検も定期的に行っており、毎月報告も受けている。	C
◎防火管理に関すること	別添の「消防(防災)計画」を参照	・定期点検業務を行い、不備等があった場合は迅速に対応し、防火に努めた。	C	第6条第2号(効用、経費)、第3号(人的能力) 適切に管理されている。 専門業者による定期的な点検、管理が行われている。	C
◎運営・利用許可等に関すること	利用者窓口受け付け業務	・管理施設の受付業務ではタブレットを用いた一括管理システムにより、休館日を除く全時間帯の予約状況をリアルタイムで把握し、重複予約の発生を防止し、公平・平等な受付に努めた。希望施設に空きがない場合でも、利用目的や用途に応じて学校施設を含む代替施設を提案するなど、臨機応変な窓口対応を行い、施設の適正かつ合理的な運用を促進した。	C	第6条第1号(平等利用)、第2号(効用、経費)、第3号(人的能力) 適切に運営されている。 タブレットの一括管理により、バッティングの防止等に努めている。 また、キャッシュレス決裁等で利用者の利便性向上に努めている。	C
◎利用者への対応(案内、苦情等)に関すること	利用者からの問い合わせ、苦情等の未然防止と対応方法	・利用者へ丁寧な言葉遣い、気持ち良いあいさつ、笑顔など「おもてなし」のころをもって接し、問い合わせ等には丁寧に対応した。またクレームやご指摘、要望等に対しスタッフ間で共有し再発防止に努めた。また要望等に対し、改善可能なものについては可能な限り努力し改善した。	C	第6条第1号(平等利用)、第3号(人的能力) 適切な対応が出来ている。 要望に対しては可能な限り対応し、クレームや指摘に対しては教育委員会と相談しながら丁寧な対応に努めている。	C
◎経理に関すること	公益法人会計に基づき処理	・実施事業、その他、法人の会計毎に適正な処理に努めた。今後も監査員(税理士)等に相談しながら適正な会計処理に努めていきたい。	C	第6条第2号(効用、経費) 監査員(税理士)に相談しながら、適正な処理に務めている。	C
《委託事業に関すること》					
◎学校体育施設の利用受付	北条、大栄小・中学校4校の受付業務	・学校と事前に何か月か先の予定について台帳で確認をしている。また学校体育施設利用の問い合わせがあった際はその都度学校に予定を確認し迅速に対応した。ただ毎回の事だが教頭先生の不在時や火、土、日曜日、祝日などは確認が取れないため、受付業務に時間がかかったことがあった。(お客様にはそのことを了承していただいた上で学校に確認)	C	第6条第1号(平等利用)、第2号(効用、経費)、第3号(人的能力) 適切に業務を行っている。	C

業務名	実施概要	成果と課題(自己評価) ＊ 記載できるものは客観的な数字も含わせて記載(改善できたことは前年度と今年度の比較、毎年度事業は各年度など。必要なら別紙添付。)	自己 評価 A～E	講 評 ＊ 北栄町公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例 第6条関係	総合 評価 A～E
《補助事業に関すること》					
◎スポーツ少年団	7団体が登録 (北条剣道、北条バレーボール、北条ミニバスケットボール、北条バドミントン、大栄バレーボール、大栄野球、北栄ミニバスケットボール)	・123人が登録し、郡・中部・県の交流会に積極的に参加した。その結果バレーボールが全国大会に出場した。子どもたちの心身の健康のため、活動機会を提供することが出来た。	C	第6条第1号(平等利用)、第2号(効用、経費) 子どもたちの心身の健康のため、活動機会を提供できており、全国大会出場など素晴らしい成績を残している。	B
◎元旦マラソン＆ウォーキング大会	1キロと3キロのコースをランニングやウォーキングし、今年1年の健康づくりのスタートを切る	・『1年の計は元旦にあり』年始めのイベントとして定着しており、過去最高の673人の参加があった。開催方法も福引抽選会も通常通り行い、参加者は大変楽しんでいた。今後も広く町民に告知し、スポーツ推進員と協力しながらこの事業を継続していきたい。	C	第6条第2号(効用、経費) 年末年始の多忙の中、スポーツ推進委員をはじめ、関係各所と調整し、町民の健康増進のため尽力している。	B
◎北栄町駅伝競走大会	おだいば公園内を周回する6区間にわたりタスキリレーをする	・30チームの参加があり、小学生から一般まで世代を超えたチーム作りがなされ異世代交流ができた。お台場公園周辺周回コースも定着し、中継点が同じなので運営面でのメリットと各チーム役員の負担面のメリットがあり、参加チームからの評判も良かった。来年の町制20周年に向けて、コース設定等関係者と協議していきたい。	C	第6条第1号(平等利用)、第2号(効用、経費) 周回コースの定着などの改善を行い、運営側も参加者側も満足度の高いイベントができています。	B
◎各種町民大会	自治会の団結力を高め親睦を図る (参加人数別添資料)	・各競技団体と各自治会が参加しやすい方法を協議しながら、大会を開催した。天候不良によりソフトボールとグラウンド・ゴルフが中止となったがそれ以外の大会は多くの参加があった。今後も要項やルール等の見直しにより一層参加数が増加するよう方策を考えていきたい。	C	第6条第1号(平等利用)、第2号(効用、経費) 町民の健康増進、地域の活性化のため活動できている。	C
◎中部駅伝競走大会	お台場中継所、海洋センター中継所役員をスポーツクラブ職員、会員が担当	・コースも例年通りに戻り開催された。北栄町からは1チームが参加し、市町の部で5位の成績を収めた。また先導車の運転業務や2つある中継所の業務もクラブ会員と協力し、滞りなく務めることができた。	C	第6条第2号(効用、経費) 中部の市町と協力して、適切な運営ができています。	C
◎県民スポーツ・レクリエーション祭	選手の派遣	・チャンピオンスポーツの部の参加申込とレクリエーションスポーツの部の参加促進に努めた。	C	第6条第2号(効用、経費) 適切に業務を行っている。	C
◎東伯郡民スポーツ・レクリエーション祭	選手の派遣	・今年度は湯梨浜町を主会場に開催され602人の選手を派遣した。男女別の総合得点表彰も廃止され、競うスポーツから楽しむスポーツ(交流)へ移行してきている。近年の夏の猛暑により開催日を春、秋にずらすなど開催時期も含め、郡民スポレクそのもののあり方を見直す必要があると思われる。	C	第6条第2号(効用、経費) 郡の担当者と協力して、適切な運営ができています。	C
自己評価総括				総合評価	総合評価
北栄町社会体育施設及び北栄町B&G海洋センターの管理に係る目的に対する貢献度について		・町民のスポーツ振興を目指し町などと連携をとり事業展開をした結果、下記のような結果が得られた。 ①「運動習慣の定着」、「心の健康づくり」、「生活習慣病の予防」などの推進を図るため、町と連携して運動教室を企画・実施するとともに、スポーツクラブ独自でも幅広い年齢層に対応した運動教室を実施した。要介護認定率が県下でも最も低い認定率となっているのはこの取り組みも関係していると考えられる。 ②自治会の活性化が町の活力につながるという理念のもと、自治会対抗による各種スポーツ大会を開催し、町民に多様な運動機会を提供している。スポーツグランプリ表彰の導入が、各自治会のやる気となり、町の活性化や地域交流につながった。 ③クラブ会員数は平成29年度の1279人をピークに少子化の影響もあり減少傾向であったが、令和6年度は1279人と回復した。これは今まであまりスポーツクラブに加入していなかった中学生が部活動の地域移行等もあり、活動機会・場所を求めて入会した結果であり、今後増加傾向になると推測される。部活動の地域移行が推進されていく予定であり、スポーツクラブも協力していきたい。 ④指定管理施設の利用人数は令和4年度から増加傾向となり今年度は約16万8千人の方にご利用いただいた。その中でも海洋センタープールにおいてはバイオマスボイラーの導入により温水化となり、開館期間が2ヶ月ほど延長され利用人数増につながった。体育施設の老朽化に伴い施設の閉鎖や修繕、電気(LED化等多くの問題を抱えているがこれからもより良い施設管理に努めたい。 ⑤今後も町民一人一人がスポーツ・運動を習慣化し、自分の健康は自分で守るの考えのもと自らの健康管理をするためにニーズにあった様々な運動プログラムを提供する。	C	(評価数)A:0 B:3 C:11 D:0 E:0 ・社会体育施設及びB&G海洋センターの管理について適切に実施されており、運営に関しても、タブレットでの一括管理やキャッシュレス決裁など業務の簡素化、利用者の利便性向上を考えた運営となっている。 ・昨年指摘のあった会計処理についても、税理士と相談し適正に処理できている。 ・各種スポーツ大会や運動教室の開催、スポ少への支援など町民の心身の健康のため様々な活動が行われており、町民のスポーツ振興に大きく寄与で来ている。 ・町内のみならず、郡・中部・県の関係者とも上手く調整を行い、イベントも問題なく運営で来ている。 ・今後は中学校部活動の地域移行が進み、総合型地域スポーツクラブの重要性がますます大きくなっていく。教育委員会と協力して、進めていきたいと思う。	C

《添付資料》
・令和6年度事業報告書
・令和6年度年間行事予定表
・各種大会結果表
・指定管理施設の利用状況

評価の観点
A 期待される水準を大幅に達成できた
B 期待される水準をいくらか超えて達成
C 期待される水準どおり達成できた
D 期待される水準を一部達成できなかった
E 期待される水準が達成できなかった

【参考】一般財団法人北栄スポーツクラブ 自主事業実績表(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

業務名	実施概要	成果と課題 ＊ 記載できるものは客観的な数字も合わせて記載(改善できたことは前年度と今年度の比較、毎年度事業は各年度など。必要なら別紙添付。)
《自主事業に関すること》		
北栄スポーツクラブ各種団体育成事業	各部が自主的に活動が出来るよう指導	・これまでと同様に水泳部、野球部、陸上部、剣道部は、自主的に大会、教室を企画し実施した。加えて卓球部やバドミントン部も小学生から大人までが一緒に自主的に活動を行っている。バレーボールやバスケットボールなども部活動の地域移行を見据えて新たなクラブを立ち上げている。その他の団体に対しても引き続き教室・大会等の実施を呼びかけていきたい。
クラブハウスの開放事業	海洋センターをクラブハウスとして開放	・スポーツクラブ員をはじめ、子どもから高齢者まで気軽に立ち寄ってもらえる様な施設を目指し、ロビーにB＆G図書館やキッズスペースのほかテレビの設置やWi-Fi環境を整備している。その結果憩いのスペースとなっている。しかし、ロビースペースにはエアコンがなく、夏と冬は過ごしにくくなっている。
スポーツ安全保険の加入奨励事務	保険加入の呼びかけ、保険手続き業務	・スポーツ安全保険の加入を呼びかけジュニアの部については、100%の加入が有り、一般の部においても加入促進に努めた。また傷害等が起こった時には迅速に対応し、保険手続きを滞りなく行った。
クラブ指導者の養成研修	スポーツクラブ指導者を対象とした研修の実施	・昨年に続き北栄町出身で読売ジャイアンツトレーナーの岩垣光洋さんを招聘し、指導者をはじめクラブ会員へ呼びかけ資質向上を目的に実施した。30名の参加者はプロのトレーナーから専門的なトレーニング等を教わり有意義な時間となった。
クラブマネジャーの養成	各部のリーダー養成(現在活動中のクラブ 41団体)	・現在活動している部を始め、新たな団体等のリーダー養成を行い日常の活動が円滑に出来るようアドバイスをしているほか、クラブの立ち上げなどの相談に乗っている。中学校部活動の地域移行は当面の課題であり、指導者の発掘、育成、お金等問題は山積している。
健康運動教室	海洋センターで毎週月・木曜日、大栄体育館で毎週金曜日に高齢者を対象とした運動教室を実施した。	・加齢による体力減退、体調不良、各運動機能の低下にストップを掛け、健康増進、アンチエイジング、要介護予防を目的に141人もの参加があった。
バランスボール&フィットネス教室	毎月第1・第3土曜日に主に20代から50代を対象とした運動教室を実施した。	・普段仕事や家事等で運動をする機会が少ない方に体力・筋力向上と運動習慣の定着を目的に前年より多い18人の参加があった。特に子育て中の女性の方や平日仕事の方が参加することが出来、運動機会を提供することが出来た。
ニュースポーツの普及と各種教室等の開催	水泳、ランニング、バドミントン、スキー、パットゲームスター、ヨガを実施した。	・広く町民に呼びかけ、小学生から大人までニュースポーツ等を提供することが出来た。夏休みの水泳教室は毎年人気があり、水泳技術の向上のほか水辺の安全教室等を行い、子どもたちに安全で楽しく水に親しむことを教えている。また女性に大人気のヨガ教室は好評を得た。今後も町民のニーズにあった種目を取り入れていきたい。
自然体験セミナーin 隠岐	町内小学生を対象とした隠岐郡西ノ島町での自然体験活動の実施。	・異年齢の子どもたちが隠岐の島で集団宿泊体験や自然体験を通して、生きる力や自然を大切にすることなど様々なことを学んでもらうことを目的に行っており、定員を超える31人の参加で開催した。現地スタッフやボランティアスタッフの協力で20年以上開催してきたが、スタッフ不足や物価高騰等の影響により、安価で同じような活動を続けていくことが困難になってきたこともあり、今回で廃止とした。
北栄BG塾	町内外小学3年生から6年生を対象に夏休みの5日間BGでの体験活動を実施した。	・夏休みを利用し、学習、アリーナ・プールでの運動、創作活動などに加え野外活動として鳥取市B＆G海洋センターでカヌー体験を行うなどたくさんプログラムを子どもたちに提供することが出来た。学習面においては教育委員会と協力し、サマースクールに参加するなど充実した活動を行ことが出来た。
《協働事業に関すること》		
北栄町健康づくり事業	北栄町健康推進課とタイアップし運動教室の協力及び指導に取り組んだ。	・健康計画推進委員として、町民の健康に関する助言を行うほか、運動教室の指導、企画立案などを行い、運動を継続・習慣化に協力することが出来た。
《総括》		
自主事業総括		・スポーツクラブ会員やスポーツ推進員などの協力を得ながら各事業に積極的に取り組んだ。全ては会員や町民のためであり、生涯を通じて豊かで活力ある生活を営むため、生涯スポーツ社会の創出と定着の推進を図ることを目的に行っているものであり、年々浸透してきている。より一層スポーツクラブのことを多くの方に認知してもらえるよう町内外にアピールしていきたい。